

(お 知 ら せ)



平成 23 年 9 月 2 日
日本原子力発電株式会社

敦賀発電所の近況について

敦賀発電所の近況について、以下のとおりお知らせします。

1. 運転状況について（9月2日現在）

1 号 機 沸騰水型（35万7千kW）	第33回定期検査中 平成23年1月26日～未定*
2 号 機 加圧水型（116万kW）	第18回定期検査中 平成23年8月29日～未定*

（ ）内は定格電気出力

*：福島第一原子力発電所事故に対する安全対策の実施状況を踏まえ、地元のご理解を得ながら計画します。（2号機第18回定期検査開始については、8月26日発表済）

2. 故障等の状況について（平成23年8月3日～平成23年9月2日）

（1）法律に基づく報告事象

なし

（2）安全協定に基づく異常時報告事象

なし

（3）保全品質情報等

なし

3. 敦賀発電所3，4号機 準備工事について（9月2日現在）

（1）建設準備工事

現在、原子炉建屋背後斜面の追加切取工事、止水壁の構築工事、中央溪流砂防堰堤準備工事等を行っています。

（2）仮設工事関係

浦底湾側の仮設用地内にコンクリートプラント設備を設置する工事を継続して行っています。

4. 東北地方太平洋沖地震関係

当社は、平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震に起因する東京電力株式会社福島第一原子力発電所事故に関連し、他プラントで確認された地震観測記録中断事象を受けて、敦賀発電所の一部の地震観測記録計のプログラムの改修を行いました。

また、既設発電所の耐震安全性評価について、敦賀発電所においては、周辺の断層の東北太平洋沖地震に伴う影響は認められませんでした。

これらについては、それぞれ国へ報告をしております。詳細については別紙1をご参照下さい。

当社は今後も全力を挙げて事故の情報収集、分析を継続し、新たな知見が得られた場合には必要な対策について、迅速かつ的確に反映してまいります。

5. その他

(1) 耐震安全性評価における入力データの誤りを踏まえた対応

他プラントで確認された耐震安全性評価における入力データの誤りについて、敦賀発電所における入力データチェック体制および入力データの確認を行った結果、問題がないことを確認し、原子力安全・保安院へ報告しました。

(平成23年8月22日発表済)

(2) 耐震安全性評価における地震応答解析モデルの設定誤りを踏まえた対応

他プラントで確認された地震応答解析モデルの設定誤りについて、敦賀発電所においては解析モデルの設定に誤りがないことを確認し、原子力安全・保安院へ報告しました。

(平成23年8月26日発表済)

(3) げんでんふれあいギャラリー

＜個人・グループでの芸術活動、趣味の発表の場としてご利用頂いております。＞

1) 敦賀市短歌人会 色紙展

〔敦賀市短歌人会（代表：上田 善朗様）の皆様による作品展です。自作による短歌を色紙に記したものを49点展示しています。〕 (8/30～9/11)

2) 第5回 八洲学童書展

〔八洲書道教室（代表：幸光 八洲様）の小学生から高校生の皆様による学童書展です。硬筆、半紙の部、条幅の部、それぞれ最近の作品を約170点展示予定です。〕 (9/13～9/25)

3) つるがちぎり絵の会 和紙工房

〔つるがちぎり絵の会（代表：河田 松湖様）の皆様による、手すき和紙のちぎり絵作品展です。静物や風景、旅行、花など時々の思い出、四季折々の作品を約28点展示予定です。〕 (9/27～10/2)

(4) げんでんふれあい福井財団イベント

＜福井県内の芸術・文化振興活動として以下の事業を実施します。＞

1) 第15回福祉演芸会 ＜太神楽曲芸&歌謡ショー＞

出演：豊来家玉之助ほうらいやたまのすけ（太神楽曲芸）

林田麻友子はやしだ ま ゆ こ（演歌歌手）

日時/会場：10/4(火) 10：00～11：00 敦賀市昭和町 「リバーサイド気比の杜」
13：50～14：50 小浜市大手町 「アクール若狭」
10/5(水) 10：30～11：30 越前町織田 「やすらぎ荘」
14：00～15：00 福井市花堂東 「さくら」
10/6(木) 10：30～11：30 越前市中央 「シルバーハイツ武生」
14：00～15：00 永平寺町山王 「ひかり苑」

2) げんでんふれあいコンサート2011

出演：財津和夫

日時：10/22(土) 開場 18：00 開演 18：30

会場：敦賀市民文化センター

以上

東北地方太平洋沖地震への対応実績（8月3日以降）

- （1）福島第一・第二発電所で地震観測記録が中断した原因の分析結果を踏まえた対応
当社は、原子力安全・保安院からの指示に基づき、敦賀発電所の地震観測記録計を確認したところ、一部の記録計について福島第一・第二発電所と同様のプログラムの不具合があり、地震観測記録が中断する可能性が否定できないことが判明しました。

このため、記録の中断が発生しないようプログラムの改修を行い、その後動作確認をし、原子力安全・保安院へ報告しました。

（平成23年8月17日発表済）

- （2）新耐震指針に照らした既設発電所の耐震安全性評価結果報告について

当社は、原子力安全・保安院からの指示に基づき、東北地方太平洋沖地震に伴い、耐震設計上考慮しないとしている断層等が考慮すべき断層に該当する可能性について検討しました。

その結果、敦賀発電所においては、3月11日以降に発生した地震に伴う地殻変動による顕著なひずみの変化および地震発生状況の顕著な変化は認められず、5月31日に報告済みの耐震設計上考慮しないとしている断層等の評価に影響を与えるものではないと判断し、原子力安全・保安院へ報告しました。

（平成23年8月30日発表済）

- （3）支援の実績について

当社及び当社関係会社では、東京電力並びに関係自治体等に対し、応援要員の派遣、消防ポンプ車や放射線測定器等の資機材の提供を行っています。

- 1）要員派遣実績（8月31日現在）

当社及び当社関係会社から20人（このうち敦賀地区からは5人）派遣中。

（3月15日以降の累計は、全社合計で延べ2,983人・日）

- 2）資機材の提供実績（8月31日現在）

消防ポンプ車 1台

放射線測定器類（サーベイメータ、ポケット線量計等） 約130台

防護服 約3,500着

その他（放管資機材）

当社は引き続き安全を最優先に、皆様に安心していただける発電所を目指し運営にあたるとともに、今回の福島第一原子力発電所における事故を踏まえて、必要な対策を速やかに実施し、発電所の安全確保に万全を期してまいります。

以上